

著作権と免責事項



免責条項: 当出版物は一般的なもので、唯一の目的は知識を提供することである。当出版物の発行者、ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルは、世界の主要なプラチナ生産会社によってプラチナ 投資需要発展のために設立されたものであるその使命は、それによって行動を起こすことができるような見識と投資家向けの商品開発を通じて現物プラチナに対する投資需要を喚起すること、プラチナ投資 家の判断材料となりうる信頼性の高い情報を提供すること、そして金融機関と市場参加者らと協力して投資家が必要とする商品や情報ルートを提供することである。当出版物のいかなる部分も出典の明記 なしでいかなる形によってでも転載あるいは配布することはできない。当出版物に掲載された2019年から2021年のメタルズフォーカス社によるリサーチおよび解説はメタルズフォーカス社が著作権を有する ものである。当出版物に掲載されたデータおよび解説の中の全ての著作権およびその他の知的財産権はメタルズフォーカス社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及び データの中の知的財産権の登録をする権利がある。メタルズフォーカス社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのメタルズフォーカス社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。 当該データ及び解説のいかなる部分もメタルズフォーカス社の書面による承諾なしに資本市場(資金調達)のために使用することはできない。

当出版物に掲載された2013年から2018年のSFA社によるリサーチはSFA社が著作権を有するものである。当出版物に掲載された2013年から2018年のデータの全ての著作権およびその他の知的財産権はSFA社に属し、発行者への第三者コンテンツ提供者である同社のみがその情報及びデータの中の知的財産権の登録をする権利がある。SFA社の分析、データ、その他の関連情報は掲載時点でのSFA社の判断を表したものであり、予告なく変更されることがある。当該データ及び解説のいかなる部分もSFA社の書面による承諾なしに資本市場(資金調達)のために使用することはできない。

当出版物は有価証券の売買を提案または勧誘するものではなく、またそのような提案または勧誘とみなされるべきものでもない。当出版物によって、出版者およびコンテンツ提供者は、それが明示されているか示唆されているかにかかわらず、有価証券あるいは商品取引の注文を発注、手配、助言、仲介、奨励する意図はない。当出版物は税務、法務、投資に関する助言を提案する意図はなく、当出版物のいかなる部分も投資商品及び有価証券の購入及び売却、投資戦略あるいは取引を推薦するものとみなされるべきでない。発行者、コンテンツ提供者はブローカー・ディーラーでも、また2000年金融サービス市場法、Senior Managers and Certifications Regime及び金融行動監視機構を含むアメリカ合衆国及びイギリス連邦の法律に登録された投資アドバイザーでもなく、及びそのようなものと称していることもない。

当出版物は特定の投資家を対象とした、あるいは特定の投資家にための専有的な投資アドバイスではなく、またそのようなものとみなされるべきではない。どのような投資も専門の投資アドバイザーに助言を求めた上でなされるべきである。いかなる投資、投資戦略、あるいは関連した取引もそれが適切であるかどうかの判断は個人の投資目的、経済的環境、及びリスク許容度に基づいて個々人の責任でなされるべきである。具体的なビジネス、法務、税務上の状況に関してはビジネス、法務、税務及び会計アドバイザーに助言を求めるべきである。

当出版物は信頼できる情報に基づいているが、出版者とコンテンツ提供者が、情報の正確性及び完全性を保証するものではない。当出版物は業界の継続的な成長予測に関する供述を含む、将来の予測 に言及している。出版者とメタルズフォーカス社は当出版物に含まれる、過去の情報以外の全ての予測は、実際の結果に影響を与えうるリスクと不確定要素を伴うことを認識しているが、出版者とコンテンツ 提供者は、当出版物の情報に起因して生じるいかなる損失あるいは損害に関して、一切の責任を負わないものとする。

ワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルのロゴ、商標、及びトレードマークは全てワールド・プラチナ・インベストメント・カウンシルに帰属する。当出版物に掲載されているその他の商標はそれぞれの 商標登録者に帰属する。発行者は明記されていない限り商標登録者とは一切提携、連結、関連しておらず、また明記されていない限り商標登録者から支援や承認を受けていることはなく、また商標登録者 によって設立されたものではない。発行者によって非当事者商標に対するいかなる権利の請求も行われない。

当和訳は英語原文を翻訳したもので、和訳はあくまでも便宜的なものとして提供され、英語原文と和訳に矛盾がある場合、英語原文が優先する。

議題: プラチナ四半期レポート - 2021年第1四半期と 2021年予測



1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

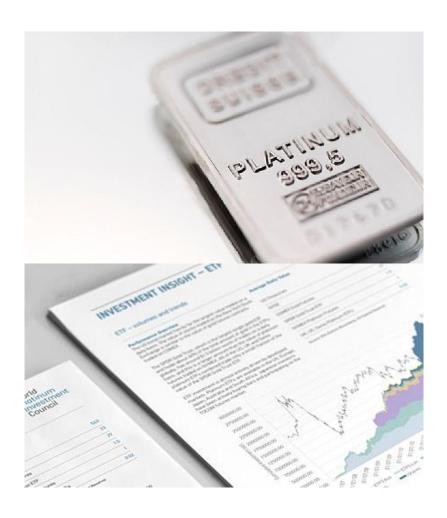
2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレヴュー

トレバー・レイモンド

3.ファンダメンタルズの基盤 *トレバー・レイモンド*

4.質疑応答

ポール・ウィルソントレバー・レイモンド



プラチナ四半期レポート - 2021年第1四半期と2021年予測



1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

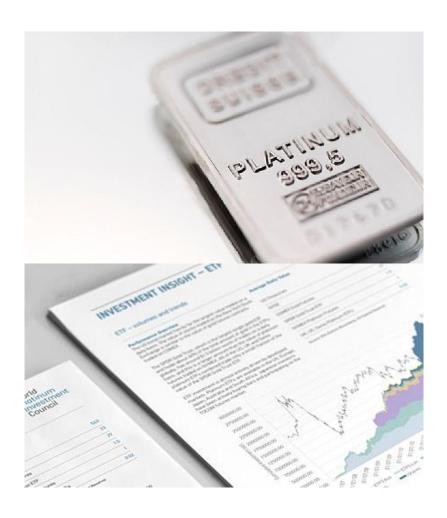
2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレヴュー

需給バランス: 2021年第1四半期と2021年予測 リサーチ・ディレクター トレバー・レイモンド

3.ファンダメンタルズの基盤 *トレバー・レイモンド*

4.質疑応答

ポール・ウィルソントレバー・レイモンド



2021年第1四半期の供給:総供給量は増加 一ACPの復旧、鉱山生産とリサイクルの回復



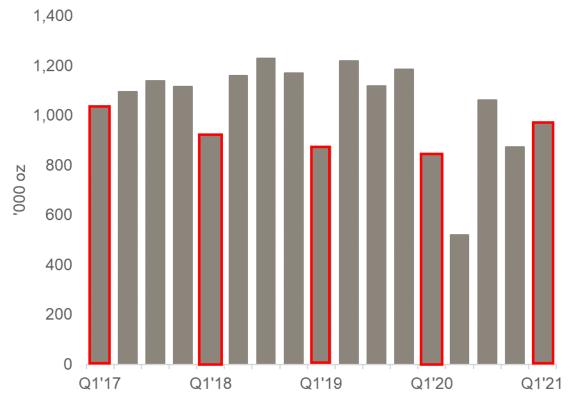
SUPPLY	Q1 2020 //	Q4 2020	Q1 2021
Refined Production	1,243	1,299	1,412
South Africa	843	873	971
Zimbabwe	108	115	120
North America	98	82	94
Russia	150	182	184
Other	45	47	43
Inc(-)/Dec(+) in Producer Inventory	+44	-45	-23
Total Mining Supply	1,287	1,254	1,389
Recycling	476	576	561
Autocatalyst	393	427	429
Jewellery	70	134	118
Industrial	13	15	14
Total Supply	1,763	1,830	1,950

- 南アフリカの鉱山供給 前年比15% 増 (+4.0トン)
- ・ ロシアの鉱山供給 23% 増(+1.1トン) 新工場の稼働で一時的な増加
- リサイクル供給18%増(+2.6トン)
 - 自動車触媒 +1.1トン、
 - 宝飾 +1.5トン
- 第1四半期全体で供給は前年比 11%増 (+5.8トン)

21年第1四半期の南ア鉱山供給 前年比 15% 増 アングロ・アメリカンのACP復旧、新型コロナ関連の損失解消







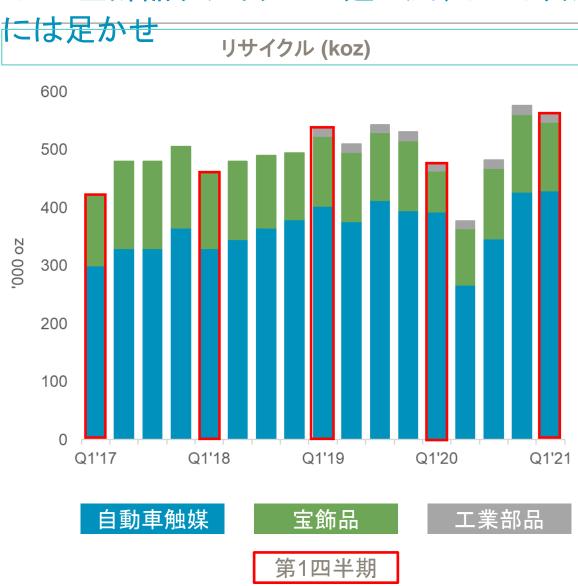
精錬プラチナ生産

第1四半期生産

- ・ 南アフリカの第1四半期鉱山生産 前年比 15%増 (+4.0トン) で 30.2トン
- 南アフリカの生産 前期比 11%増 (+3.0 トン)
 - ACP フェイズ A は2020年第4四半期 に再開し、2021年第1四半期にフル稼働
 - 第1四半期の新型コロナ関連の鉱山 損失ゼロ
 - ACP閉鎖期間に貯められた 6.2トンの 一部が 2021年に加工された分を含む

2021年第1四半期のリサイクルは18%増加: プラチナの高価格は 宝飾品リサイクルに追い風、しかし自動車触媒のリサイクル





- リサイクル供給は18% 増(+2.6トン)自動車触媒 +1.1トン、宝飾品 +1.5トン
- 自動車触媒のリサイクルは、精錬キャパシティとプラチナ価格上昇で操業資金が嵩むことが足かせとなる
- 宝飾品リサイクルは、プラチナの高価格と ゴールドへの乗り換えをする一部の小売 業者の動きで増加

2021年第1四半期の需要: 前年と比べ自動車と宝飾品が大幅に 回復し、工業と投資需要も増加



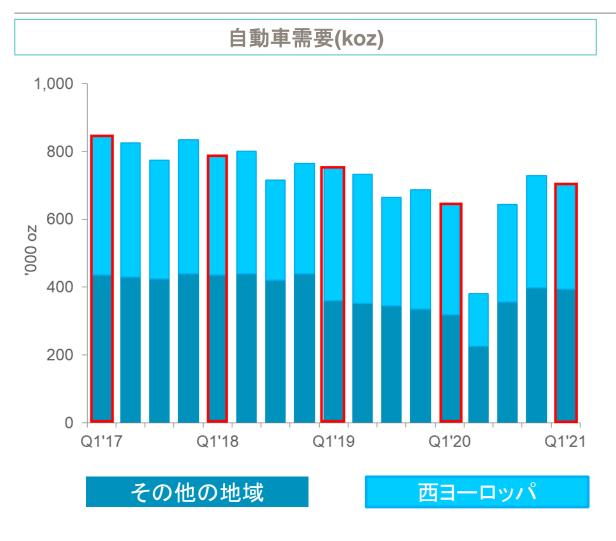
DEMAND	Q1 2020 //	Q4 2020	Q1 2021
Automotive	639	710	689
Autocatalyst	639	710	689
Non-road			
Jewellery	393	529	478
Industrial	461	589	662
Chemical	176	171	119
Petroleum	33	36	27
Electrical	32	35	32
Glass	45	146	279
Medical & Biomedical	59	59	62
Other	117	142	144
Investment	71	133	140
Change in Bars, Coins	305	60	17
Change in ETF Holdings	-213	74	90
Change in Stocks Held by Exchanges	-20	-1	33
Total Demand	1,564	1,961	1,969
Balance	199	-132	-19

前年と比べた第1四半期の需要の変化:

- 自動車 8% 増(+1.6トン)
- ・ 宝飾品 22% 増(+2.6トン)
- ・ 工業 44% 増(+6.3トン)
- 投資 96% 増(+2.1トン)
 - インゴットとコインはマイナス94%(-9.0 トン)
 - ETFは増加 (+9.4トン)
 - 取引所在庫は増加 (+1.7トン)
- マーケットバランス: -0.6トンの不足

2021年第1四半期 自動車需要: 前年比 8% 増、弱含みの欧州を中国の大型車需要がカバー

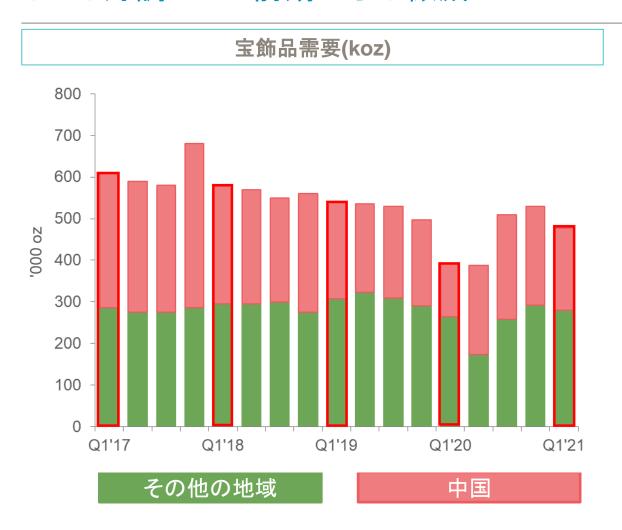




- 自動車需要は前年比で 8%増(+1.6トン) しかし 前期比でマイナス 3% (-0.6トン)
- 第1四半期の欧州のディーゼル車販売高は前年比マイナス 13%。しかし触媒装置のプラチナ使用量増加で需要は マイナス8% (-0.8トン) に抑えられる
- 中国の商用大型車市場と触媒装置の金属使用量増加で、欧州以外の成長を牽引

2021年第1四半期 宝飾品需要: 前年比22%と大幅に回復、しかし好調だった前期からは微減



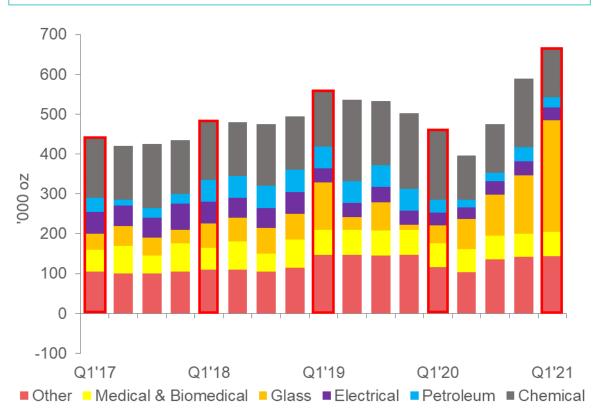


- 宝飾品需要 前年比22% 増(+2.6トン) 14.9トン
- 新型コロナ感染症で抑制された贈り物需要 と季節的需要で前年から大幅に回復
 - 北米 14% 増(+0.3トン)
 - インド 35% 増(+0.2トン)
- ・ 中国の需要、前年比55% 増 (+2.2トン)プラチナ宝飾品のマージン増大と新しい軽量デザインの販売開始

2021年第1四半期 工業需要: 前年比 22% 増(+6.3トン) ガラス分野の需要が急増



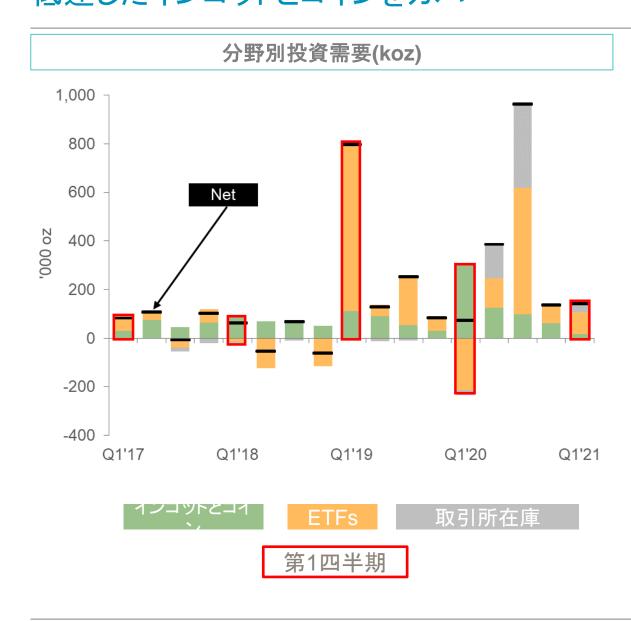
分野別工業需要(koz)



- プラチナの工業需要 前年比44% 増(+6.3 トン)、前期比 12%増 (+2.3トン)
- ガラス需要の増加、前年より7.3トン増加、 前期比92%増(+4.1トン)生産能力増大の ため
- 化学需要は前年比マイナス 32% (-1.8トン) 新型コロナの影響長引く
- 石油需要は前年比マイナス 19% (-0.2トン)需要の先行き不安と売り上げ回復遅れのため

2021年第1四半期 投資需要: 前年比 96% 増加 - 好調なETFが 低迷したインゴットとコインをカバー





- 投資需要は前年比96%増(+2.1トン)で4.4トン
- インゴットとコインの需要は前年比マイナス 94% (-9.0トン)4000円/グラムを超える歴史的な高値で、 日本からの利食い売りのため
- ETFは前年から 9.4トンの増加 旺盛な投資家買いのため
- 取引所在庫 (主に NYMEX) は 1.7トン増加。マーケットメーキングは通常レベルに

2021 年全体: 3 期連続の不足 -4.9トン 供給は 16%増、需要は 5%増

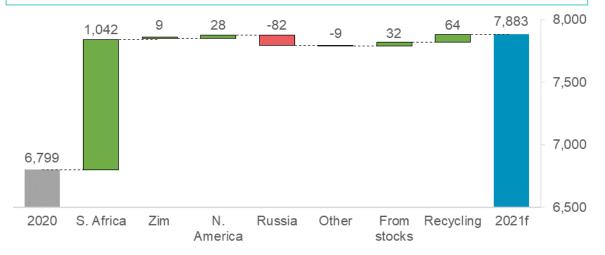


Above Ground Stocks		2,684	2,526	-158	-6%		
Balance		-863	-158		N/A		
Total Demand		7,663	8,041	378	5%		
	Investment	1,549	726	-823	-53%	J	
	Industrial	1,926	2,412	486	25%	•	
	Jewellery	1,820	1,978	158	9%	•	
	Automotive	2,368	2,925	557	24%		
DEMAND						•	2021年の市場は引き続き不足 (-4.9トン)
Total Supply		6,799	7,883	1,083	16%		
	Industrial	56	58	2	3%		トン) は増加の可能性
	Jewellery	422	455	33	8%		
· -	Autocatalyst	1,433	1,462	29	2%		とコインは堅調 (13.6トン)、ETF需要(7.8
Recycling		1,912	1,975	64	3%	•	投資需要はマイナス 53%、しかしインゴッ
Total Mining Supply		4,888	5,907	1,019	21%		
Inc (-)/Dec (+) in Pro	ducer Inventory	-82	-50	32	N/A	•	自動車需要は24% 増(+17.3トン)
	Other	183	174	-9	-5%		
	Russia	704	621	-82	-12%	•	リサイクルは 3% 増(+2.0トン)
	North America	337	365	28	2 % 8%		
	South Africa Zimbabwe	3,298 448	4,340 457	1,042 9	32% 2%		
Refined Production	Courtle Africa	4,970	5,957	988	20%		としてコロナ禍以前のレベル以下
SUPPLY		2020	2021f	•	YoY, %	•	精錬生産20% (+30.7トン)回復、しかし依然

2021 年全体: 総供給量16% 増(+33.7トン) 総需要量5%増(+11.8トン)

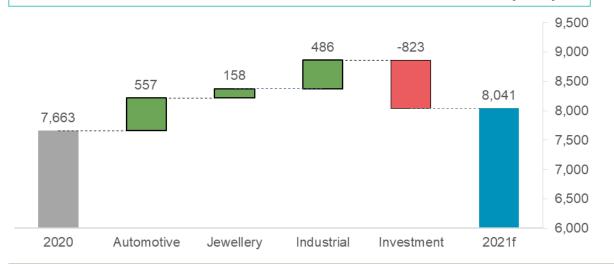


2020年から2021年(予測)の年間総供給量の変化 (koz)



- 南アフリカ鉱山供給は32%増(+32.4トン)コロナ関連の中断なく、2020年12月始めよりACP復活
- リサイクル供給は3%増(+2.0トン)

2020 年から2021年(予測)の年間総需要量の変化 (koz)



- 自動車需要は24%回復:普通車、大型車の回復、自動車触媒の金属使用量増加、 パラジウムの代替としてプラチナ使用
- 宝飾品需要は9%回復、工業需要は25% 増
- ・ 投資需要は過去最高だった2020年よりは マイナス 53% だが、手堅く22.6トン

議題: プラチナ四半期レポート - 2021年第1四半期と 2021年予測



1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレヴュー

トレバー・レイモンド

3.ファンダメンタルズの基盤

- 経済回復と供給の限界
- 投資家の関心、価格、価値
- 需要増加の要因

リサーチ・ディレクター トレバー・レイモンド

4.質疑応答

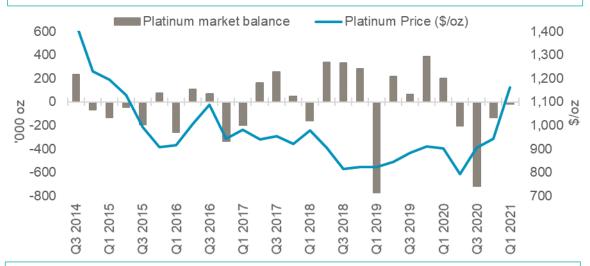
ポール・ウィルソントレバー・レイモンド



プラチナの供給不足 ― 4期連続、3年連続

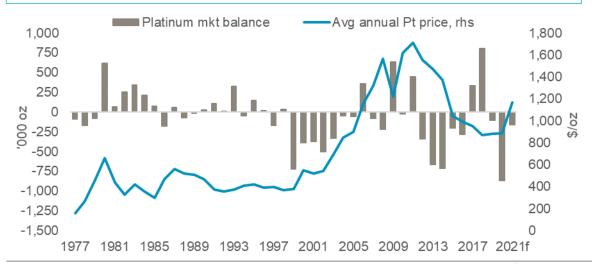






- ・ マーケットの供給不足の要因:
 - 供給の限界
 - 宝飾品需要の回復
 - 自動車と工業需要の回復と成長
 - 堅調な投資需要

2021年の不足、-1.9トンから -4.9トンに増大



- 2021年: 過去の予測より供給不足増加 (-4.9トン vs -1.9トン)
- さらなる供給不足が予測される要因:
 - 自動車触媒のPGM使用量の増加
 - パラジウムからプラチナへの代替進む
 - 投資需要の増加

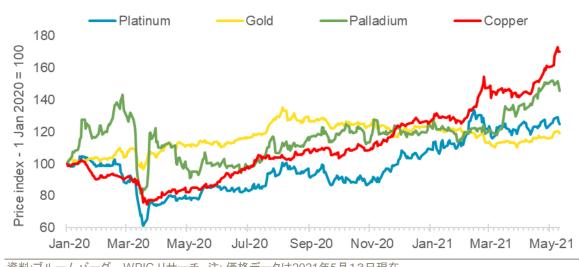
世界経済の回復で工業用金属に投資家が注目





- 世界経済はコロナ禍から大幅に回復
- 製造業の強い回復基調の顕在化:
 - PMI (購買担当者景気指数)
 - 製造業新規受注 (2021年第1四半期は過 去 10年で最高に)

プラチナ上昇するも、工業メタルにより遅れ

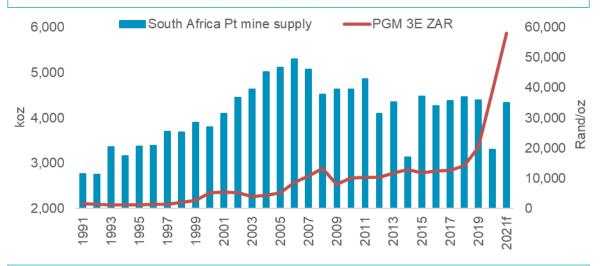


- 上昇基調続くプラチナ価格:
 - ゴールドを大幅に上回るパフォーマンス
 - 2000年1月より約 28%上昇
 - 工業用メタルに劣るパフォーマンス
 - パラジウムより大幅な安値

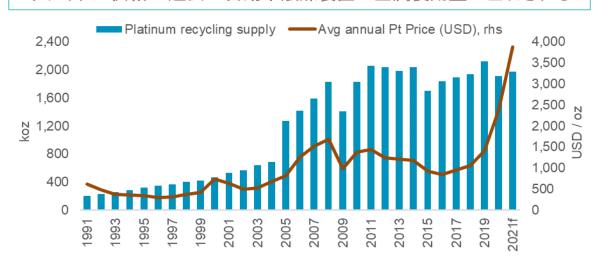
バスケット価格の高騰でも供給は増えず – コロナ禍、ACP転炉、 リサイクル回復も、2019年レベル下回る



南アフリカ鉱山供給は回復も、依然2019年レベル以下



リサイクル供給 - 過去の自動車触媒装置の金属使用量に左右される

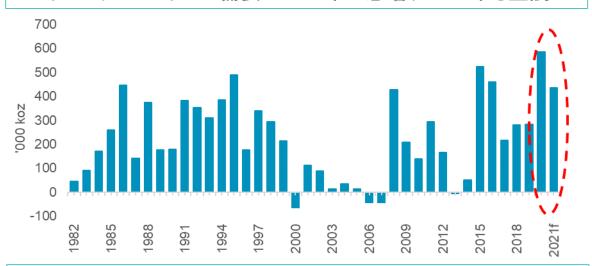


- 鉱山供給は、バスケットの高価格でも向こう3 年から4年はフラットの予測
- ACP 転炉事故後の回復は緩やか:
 - ACP 転炉事故で2020年のプラチナ生産 は大打撃
 - 製錬後のプラチナ約15.6トンが堆積
 - 2021年に加工されるのは、そのうち約6.2 トンのみで、残りは2022年
- リサイクル供給は価格弾力性に乏しい:
 - 過去の自動車触媒の金属使用量に因る
 - プラチナ価格上昇に対する反応は限定的
 - 処理能力と資本が足かせ

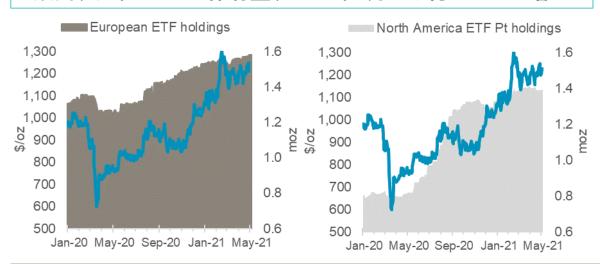
投資家の強い関心と投資意欲、2021年以降も継続か



インゴットとコインの需要: 2020年に急増、2021年も堅調



欧州、北米の ETF 保有量、2020年1月から約 26.7トン増加

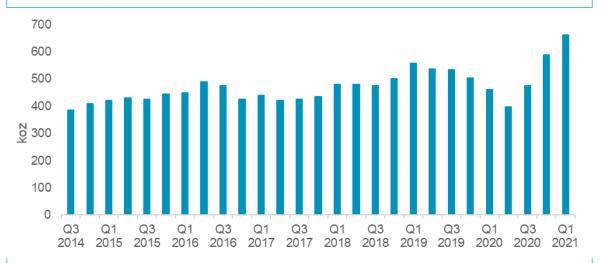


- 投資家がプラチナに関心を寄せる要因:
 - 世界経済の回復とプラチナの工業用メタルとしての用途
 - 水素経済への信頼の高まり
 - 排ガス規制による自動車触媒の金属使用 量の増加
 - パラジウムを代替するプラチナ
- プラチナ需要の成長予測で、投資需要予測に は価格上昇リスク

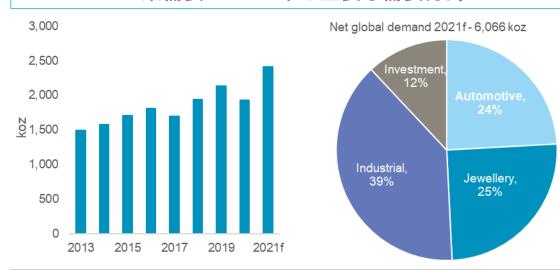
世界経済の回復で、プラチナの強い工業需要に注目集まる



2021年第1四半期の工業需要 - 低迷した2020年から急回復



工業需要 - 2021年は主要な需要分野に



- 工業需要 (リサイクルは含まない) 2020年まで の20年間で年平均4% の伸び
- ・ 需要の成長要因: 世界経済の成長と技術革新
- ガラス需要、用途拡大(スクリーン、断熱材など)で2020年と2021年に生産能力増強
- 2021年の需要成長予測:
 - 前年比25%増で 75.0トンに
 - コロナ禍以前の2019年から13%成長
 - 世界のプラチナ需要の39% (リサイクル供 給は含まない)

確実性を増す水素経済の到来一 中国の第14次5ヵ年計画 に水素戦略目標



- 中国の第14次5ヵ年エネルギー計画、国内の水素経済の発展が主要な戦略的目標
- 概念的な政治目標を確実に投資実行する過程が、該当分野の急激な成長を牽引してきた
- 主要11省では、今後5年間にグリーン水素製造、水素燃料補充インフラ、燃料電池自動車普及に対して巨大な投資を確約



 Regions where provincial-level plan/policy has been established

Beijing, Shanghai, Guangdong, Heibei Henan, Shandong, Jiangsu Hainan, Sichuan, Shanxi

→ Regions where city-level plan/policy has been established

Hubei, Hunan, Fujian, Jilin

→ Regions with business activities, but yet to establish a policy/plan

Inner Mongolia, Xinjiang

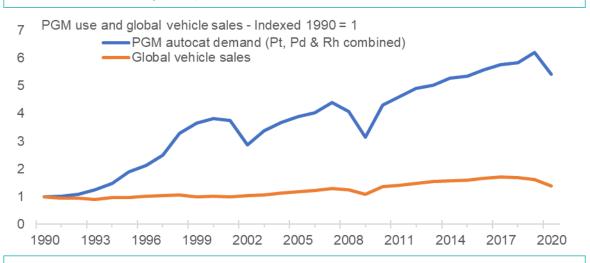
Provinces with >1 charging stations

- 中国は水素と燃料電池の発展を 強く後押し
- 中国は水素バスとトラックを中心 に欧州、米国の開発ペースを上 回る
- 水素によって中国は脱炭素化を 進め、輸入燃料への依存から脱 却

PGM の自動車需要には厳格化する排ガス規制の影響が依然強い



PGM 触媒装置需要は自動車販売台数を大きく上回る



新たな規制で金属使用量はさらに増加

Country/Region	Regulation	Full implementation		
EU	6d Temp (RDE1)	Sep-2019		
E0	6d (RDE2)	Jan-2021		
India	Bharat VI	2020		
	6a (LV)	Jan-2021		
China	6b (LV)	Jul-2023		
	VI a (HD)	Jul-2021		
USA	Tier 3	2017-2025		

- PGM の自動車触媒需要は、1990年から世界 の自動車販売台数の約4倍に増加
- 自動車触媒のPGM需要を押し上げる主な要 因は、厳格化する排ガス規制

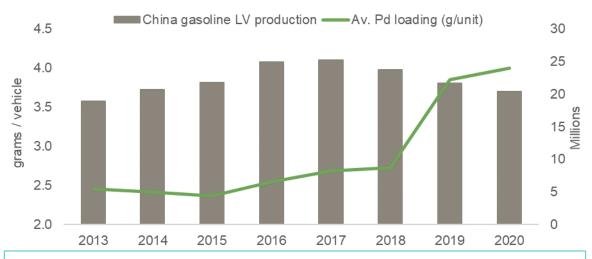
- 新たな排ガス規制の影響:
 - 自動車触媒装置の PGM 使用量の増加
 - パラジウムからプラチナへの代替の圧力に

中国「国 6」(普通乗用車)で触媒装置の金属使用量増加と チナ代替への圧力、「国 VI」(大型車)でプラチナ需要に弾み



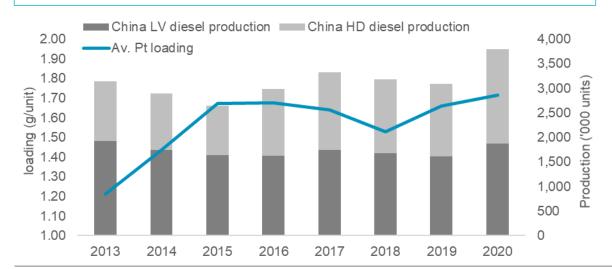
23

ガソリン普通乗用車のパラジウム使用量、大幅に増加



中国のガソリン車の触媒装置に使われるパラジウムは、「国6」規制施行後の2018年から約47%増加 — 2021年1月より全国に施行

大型車向け「国VI」施行の遅れ、本格的影響は2021年



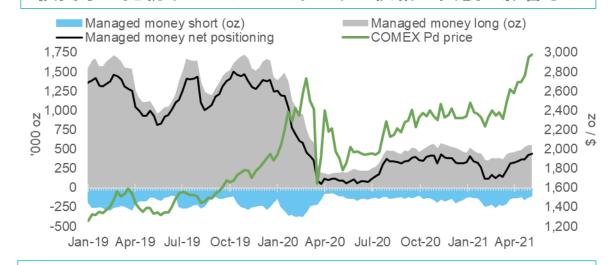
- ・大型車対象の「国 VI」の全国的施行は2021 年7月 — プラチナ需要を大幅に押し上げ
- ジョンソン・マッセイ社の予測は大型車対象の 「国 VI」規制でPGM使用量は3倍に

資料: ジョンソン・マッセイ、WPIC リサーチ

パラジウム価格の動き: かつては先物に影響されていたが、現在は中国のスポット買いに大きく影響される



投資家の先物ポジション- パラジウム価格の回復に影響なし



中国のパラジウム輸入、2020年に急増

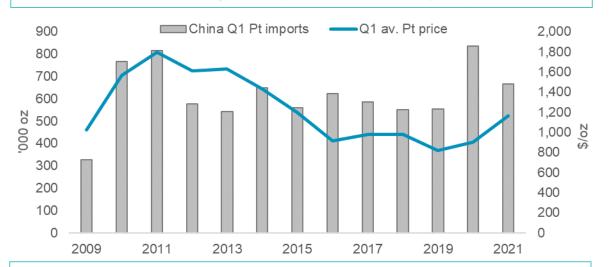


- 中国の多くの製造業者は、欧米のような先物を 利用したヘッジブックを採用していない
- 従って、スポット買いの現物を自動車触媒装置 に 使用
- 普通乗用車用「国6」規制で製造業者の パラジウム需要が大幅に増加
- ・ 中国の2020年のパラジウム輸入量は前年比 で 約40%増加 し、40.4トン
- 中国のスポット買いが2020年のパラジウム価格 高騰の主因

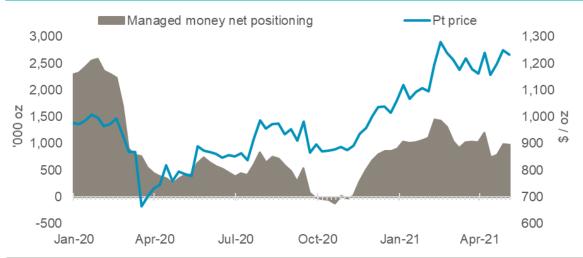
中国の自動車プラチナ需要の増加で、価格押し上げ要因となるスポット買いの増加



中国のプラチナ輸入は高価格にもかかわらず堅調



2021年3月以降、プラチナ価格は物のロングからの売りにもかかわらず堅調

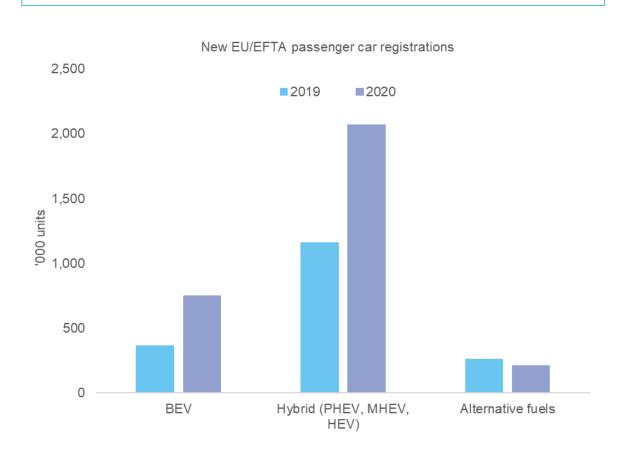


- 中国のプラチナスポット買いの増加は、さらに 多くのプラチナを触媒装置に使うディーゼル大 型車と、ガソリン車でパラジウムの代替として プラチナを使う動きのため
- ・ 2021年第1四半期は過去5年間で四半期毎の 最高価格だったにもかかわらず、中国のプラチ ナ輸入量は四半期では4番目に多かった
- 中国のスポット買いでプラチナは年初以来 1100 ドルから1200ドル/オンスで下値が支えられている

ハイブリッド車、欧州でCO2排気量軽減の目玉に



ハイブリッド車販売、2021年第1四半期も電気自動車を上回る



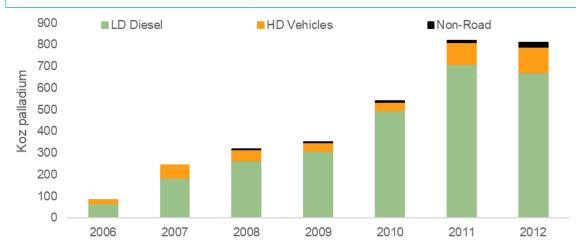
- ・ ハイブリッド車とバッテリー電気自動車の販売 比率、 2020年第1四半期は3:1、2021年 第1四半期は4:1と差が拡大
- 多額の購入補助金にもかかわらず、バッテリー 電気自動車の販売が軌道に乗らない要因:
 - 環境に配慮した発電への投資進まず
 - 素早い燃料補給施設への投資が不足
- 自動車メーカーにとってハイブリッド車はCO₂ 排気量低減を握るカギ
- ・ ハイブリッド車のマーケットシェアの成長は、プラチナを含む自動車のPGM 需要を後押し

資料: 欧州自動車工業会、WPIC リサーチ 26

ディーゼル車の触媒装置でのパラジウムに替わるプラチナは見過ごされてきた: WPICの見解: すでに完了したか



ディーゼル車のパラジウム使用量は2011年に 24.9トンを超えた



パラジウムより安いプラチナがディーゼルに使われ、その量は2017年 から逆転

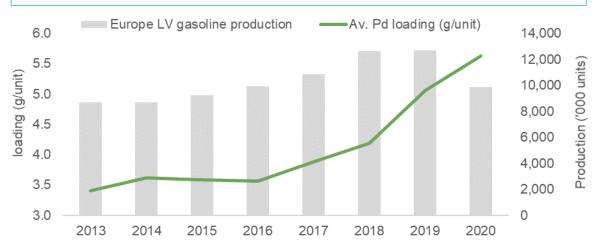


- ジョンソン・マッセイ社によると、2012年までに 年間で 24.9トン以上の、プラチナよりも安かっ たパラジウムがディーゼル車に使われた
- しかしこの代替は2014年より、採算性の面から 逆転し始めた
- 2019年までに、ディーゼル車ではほとんどのパラジウムはプラチナに代替されたとみる
- ディーゼルゲート事件以降、自動車のプラチナ 需要は、パラジウムとの代替がなければ、さら に激減したはず

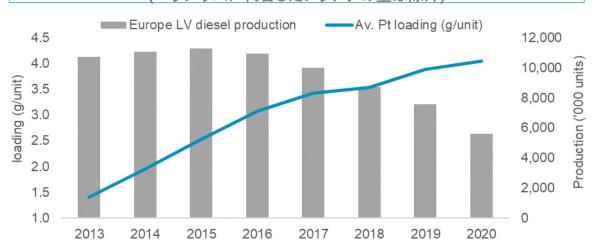
「EURO 6D」対応のディーゼル車触媒装置のPT使用量の増加は、プラチナ代替とコロナ禍による販売高減少の影に隠れる



欧州の普通乗用車の触媒装置のパラジウム使用量 - 2016年以降増加



ディーゼル普通乗用車の触媒装置のプラチナ使用量 (パラジウムに代替したプラチナの量は除外)



- 2020年のガソリン車のパラジウム使用量は「Euro 6d」 対応のため約45%増加
- 「Euro 6」対応のディーゼル車のパラジウム使用量は 変化なし:
 - 「Euro 6」ディーゼル車 は2019年9月まで800 mg/km 以上の窒素酸化物を排出
- WPICの見解: 路上テストで窒素酸化物を約800 mg/km から 約20 mg/km(「Euro 6d」規制) に軽減するために は少なくとも 20% から 40%プラチナを増やす必要
- ディーゼル車の金属使用量の動向が不明瞭になった要因:
 - ディーゼル車のプラチナ代替
 - コロナ禍による販売高減
- WPIC のシナリオ: ディーゼル車でプラチナの使用量が 20%増えると、2021年以降は年間3.1トン以上のプラチナ 需要に つながる

中国の「国 6A」規制によるプラチナ代替と「EURO 6D」対応のガソリン車に - 対するWPICの見解: 2021年にさらに13.4トンのプラチナ需要の可能性

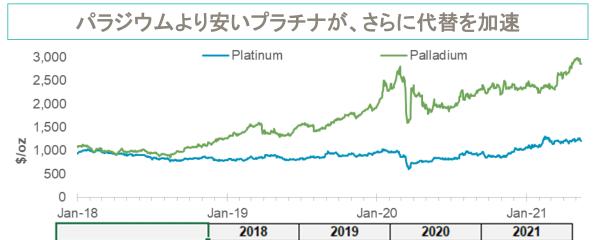
-1,315

-1.903

-1,363

-1.754





2021年のガソリン車生産高は中国と欧州で約3100万台

-676

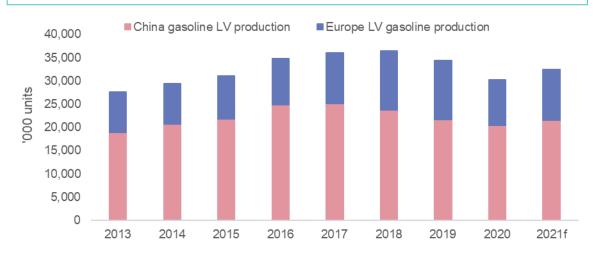
-1.060

-151

-476

Av. Pt-Pd discount

Peak Pt-Pd discount

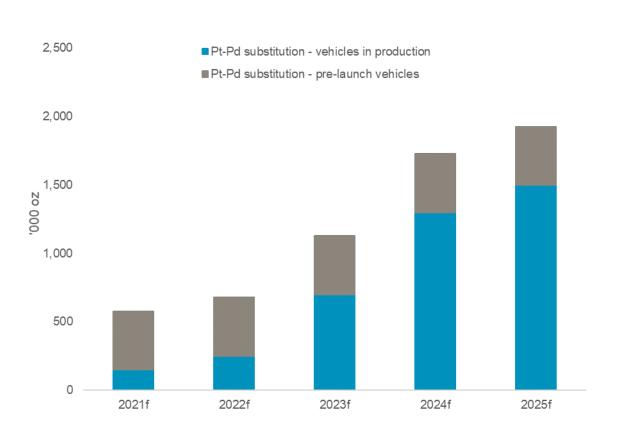


- すでに2021年に販売中のガソリン車では4.7トンのプラチナが、パラジウムの代替に使われたと触媒装置業者は推測
- しかし、この数字は販売前の車における代替を 含まない
- 「Euro 6d」「国 6a」規制、2021年1月に 全面施行:
 - 欧州、中国で販売される全車両には改良された排気ガス排出システム
 - プラチナーパラジウムの変更は最低限の技術・検査・承認費用
- WPIC のシナリオ: 欧州、中国の新車販売のうち30%で、パラジウムの30%をプラチナに代替:
 - 約13.4 トンのプラチナ年間需要
 - メーカーの費用削減 年間5億ドル以上

WPIC の予測シナリオ: プラチナをパラジウムの代替に – 2025年までに年間59.1トン以上の需要に



2025年までに年間で約59.1トン以上の自動車のプラチナ需要に



- 市場予測から判明すること:
 - 2021年に販売されている車には約4.7トン の プラチナがパラジウムの代替として使われている
 - 代替の量は2025年までに46.7トンに増加 する予測
- 現在の代替予測量には販売前の車種の代替プラチナの量が含まれていない
- 「国 6a」・「Euro 6d」規制対応の普通乗用 車でプラチナ代替が行われれば、プラチナ需 要は年間12.4トン増え、2025 年の合計を 59.1トン以上に

なぜプラチナに投資?-供給の限界、自動車触媒のPGM使用量の増加、代替と投資





- プラチナは依然としてパラジウムより安価で、他の 工業メタルより過小評価
- 今後4年間の供給は極度に制限されている
- 自動車触媒装置のプラチナ使用量の増加とパラジウムとの代替から、短期的な年間需要の大幅な増加
- 自動車需要の増大による中国のスポット買いが価格に上昇圧力
- 水素経済におけるプラチナの確実な長期的、戦略 的役割と大きな需要
- 中短期的展望がさらなる投資需要を呼び込む 価格形成に重要な役割

プラチナ四半期レポート - 2021年第1四半期と2021年予測



1.初めに

CEO ポール・ウィルソン

2.プラチナ四半期レポートとファンダメンタルズレヴュー

トレバー・レイモンド

3.ファンダメンタルズの基盤 トレバー・レイモンド

4.質疑応答

CEO ポール・ウィルソン リサーチ・ディレクター トレバー・レイモンド



